



広報

かつやま



8 No.669 月号

CONTENTS 

ゆめお一れ勝山
開館1周年
地区別座談会
子ども医療費

平成22年8月12日発行

「Oh~、Wonderful!」

この夏、青少年交流事業としてアメリカ・アスペン市からホームステイにきた青少年4人。8月2日には野向の西出そば道場でそば打ち体験をしました。勝山の魅力にたくさん触れて、ますます青少年交流が盛んになるといいですね。

歴史の散歩道

(118)

勝山城址之碑

勝山市民会館玄関の左側庭に、城址碑がひっそりと建てられている。

城址之碑の表には「明治二十二年 勝山城址之碑 源長守書」とあり、最後の藩主の筆になるものである。裏面には

「勝山城址隨記（隨記：裏に記す、読点は筆者が付す） 元禄四年（一六九二）七月、小笠原貞信公自美濃高須移封茲土、食邑貳萬石餘、迨嫡孫信辰公創筑本城、廣二町表三町、檢山帯河沃饒四塞天府之險也、八世長守八奉還封土在勝山藩知事、明治四年（一八七二）廢藩置縣公自其年八月去茲土移居東京、自貞信公移封至長守公去國凡一百八十一稔矣、後二年有廢城之令、舊封土民惜其終歸湮滅、建石城址以遺永遠 舊藩士木下義雄謹記 明治二十二年（一八八九）歲在己丑三月 子爵小笠原長育（長守嫡子）書」とある。これを読み下すと、「元禄四年七月、小笠原貞信公美濃高須より茲の土（この土地）に移封す。食邑（領地）二万石余なり、嫡孫信辰公に迨び本城を創筑す、広（東西の意味）二町表（南北の長さ）三町、檢山帯河（山がそびえ、河がめぐる）沃饒（肥えた土地）にして四塞（周囲を要害で囲まれる）は天府の險なり（天然の要害である）、八世長守公



勝山城址之碑

ありし日の天守台上の「勝山城址之碑」左に招魂社も見られる



市民会館前庭に移された「勝山城址之碑」

文化財保護委員 増田公輔

に至り封土（領土）を奉還し勝山藩知事に任ず、明治四年廢藩置縣公自其年八月茲の土を去り東京に移居す、貞信公の移封より長守公去國に至る凡そ二百八十一稔（年）なり、後二年にして廢城之令有り、旧封の士民其終に湮滅に帰するを惜しみ、城址に建石し以つて永遠に遺さんとす、旧藩士木下義雄謹んで記すであらう。
勝山城址之碑が建てられたのは天守台上であり、明治二十二年のことである。昭和四十一年に至つて、市民会館建設の為に天守は取り壊され、城址碑は現在地に移されたのである。
この城址碑の建設については、旧領分有志の寄付により、明治二十二年二月十日から、旧領民により「中ノ橋」下から曳き出されたことが記される「永世家記録」（比良野家文書）。

人口の動き

	6月末現在	自然動態			社会動態			7月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,622人	6	12	- 6	8	25	- 17	12,599人	- 23人
女	13,797人	5	15	- 10	11	17	- 6	13,781人	- 16人
合計	26,419人	11	27	- 16	19	42	- 23	26,380人	- 39人
世帯数	8,286世帯							8,279世帯	- 7世帯

編集後記
連日大変な猛暑が続いています。これまでに誰も経験したことのない暑さですから、熱中症には十分気をつけましょう。今月号に対策記事も載せてありますので、ぜひご一読ください。
今年のお盆も「勝山山夏物語」が開催されます。恐竜博物館開館10周年記念行事の恐竜パレードや、かつやまワッショイ2010に納涼花火大会。そのほかにもイベントが目白押しです。暑い夏をさらに熱くする勝山の夏の風物詩。ぜひ足を運んでください。

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成22年7月末	前年比
総件数	277件	+19
人身事故 (うち高齢者)	40件 (31)	+5 (+13)
死者 (うち高齢者)	2人 (1)	+1 (+1)
傷者	41人	+2
物損事故	237件	+14

8月の納税

市・県民税▶2期
納期限▶8月31日(火)
口座振替▶8月26日(木)

広告

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで